



# 夏のVOC 排出削減



にご協力をお願いします！

※VOCとは、Volatile Organic Compoundsの略で、塗料、インキ、金属洗浄剤などの有機溶剤に含まれる成分です。

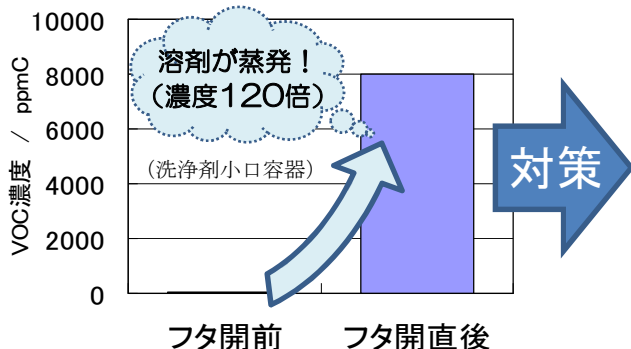
～夏は気温が高く、特に有機溶剤が蒸発しやすい環境です～

神奈川県では、九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)と併せて山梨県、静岡県と連携し、6月から9月の間、VOC対策を重点的に実施しています。VOCの排出を削減することは、大気環境の改善につながるだけでなく、有機溶剤購入費の削減や作業環境の改善といったメリットがあります！夏のVOC対策の徹底にご協力をお願いします！

メリット  
1

## ムダな蒸発を防いで 有機溶剤購入費の削減！

フタを開けているだけで溶剤は蒸発していきます！必要なとき以外はフタをしっかりと閉めましょう。



洗浄槽のフタ閉め



容器のフタ閉め

メリット  
2

## においを減らして 作業環境の改善！

溶剤の染み込んだウェスなどの廃棄物は密閉保管しましょう。

※「VOC拡散防止のため、必ずフタを閉めること」などの貼り紙をするとより効果的です。



廃棄物容器の密閉

## 低VOC製品を選びましょう！

《印刷》 例：低VOC洗浄剤



印刷業界の制度である「GP資機材認定制度」では、低VOC洗浄剤などの環境に配慮した資機材を登録しています。

《塗装》 例：ハイソリッド塗料

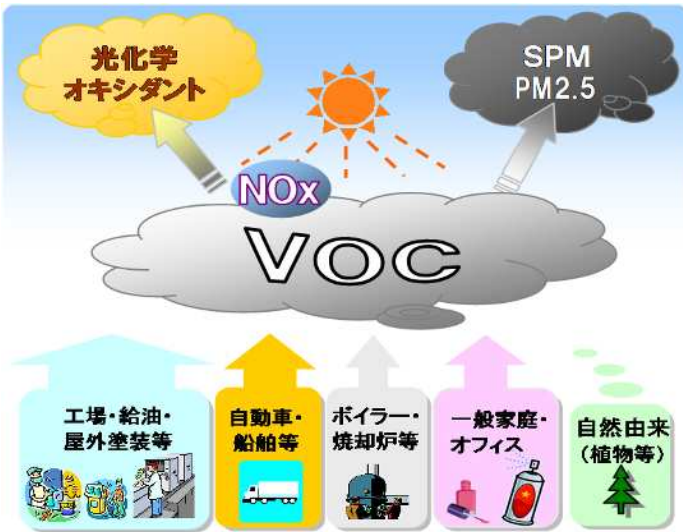
既存設備の大幅な変更をせず、VOC排出量を3～6割程度まで抑制できます！

《めっき・金属表面洗浄》 例：水系洗浄剤

部品洗浄度の基準を見直し、洗浄材を代替することでVOC排出量を5割以上削減できます！

# なぜ、VOC対策が必要なのか？

VOC（揮発性有機化合物）は、PM2.5や光化学オキシダントの原因物質のひとつです。

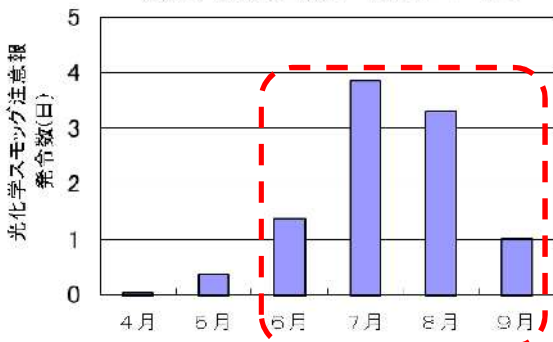


- VOC(揮発性有機化合物)には、塗料やインキに使われるトルエン、金属や機器の洗浄に使われるトリクレン(トリクロロエレン)、塩化メチレン(ジクロロメタン)などがあります。
- VOCは蒸発しやすく、大気中に放出されると、NO<sub>x</sub>(窒素酸化物)とともに太陽光を受けてPM2.5、SPM、光化学オキシダントを生成します。
- 光化学オキシダントは、目や喉への刺激といった人的被害だけでなく、農作物などへの被害も引き起こします。

## 夏のVOC排出削減の重要性

光化学スモッグ注意報は6月から9月に多く発令されます。

神奈川県内における光化学スモッグ注意報月別発令状況(平成12～平成30年平均値)



光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件は、

- ① 最高気温が25℃以上
- ② 日照があること
- ③ 東京湾や相模湾から海風の進入があること

などがあります。これらの条件がそろえば、VOCの排出を抑えることは特に重要です。

※光化学スモッグ注意報は、光化学オキシダントが高濃度(120ppb)となり、その継続が見込まれる場合に発令

光化学オキシダントは、広い範囲で高濃度になります。

高濃度の光化学オキシダントが広い範囲で発生するため、平成24年度から、九都県市で連携して、夏のVOC排出削減を呼びかけています。

また、平成26年度からは、神奈川県独自の取組で、山梨県及び静岡県とも連携し、夏のVOC排出削減を呼びかけています。



関東地域における光化学オキシダント注意報レベル(120ppb以上)の濃度が出現した日数の分布「大気汚染状況 平成29年度」(環境省)

(<https://www.env.go.jp/press/106609.html>)を加工して作成



神奈川県

大気水質課 大気環境グループ  
電話(045)210-1111(代表)(内線4111~4114)  
ホームページ<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/voc/index.html>(令和元年5月30日発行)

神奈川県 VOC 削減

検索